

5月号

京橋朝海幼稚園 園だより

令和7年4月30日

絵本をきっかけとした探究活動

園長 中島 由美子

玄関には、年長組が作成した大きなこいのぼりが気持ちよさそうに泳いでいます。幼稚園の前を行き交う様々な人が、こいのぼりを見ながら微笑んだり、立ち止まって話をしたりしている姿が多く見られます。保護者、地域の皆さんに、幼稚園が大切にしている季節感や文化を発信しながら、ここで育つ子どもたちのことを思い浮かべていただけたらと願っております。

さて、今年度より東京都の事業である「とうきょうすくわくプログラム」に参加し、子どもたちの「なぜ?」「こうしてみよう」「できた!」を引き出す探究活動を実践していきます。これまでも、本園では主体的な活動としての遊びを通して、「あれ?」「なにかな?」という好奇心や、夢中になって遊び込む探究心を育んできました。これらの取組が自己肯定感や粘り強さ、思いやりや自己コントロールといった非認知能力の育成につながり、変化が激しい時代を生きていく子どもたちに必要な力であることから、改めて注目されています。

そこで、本園では今年度、絵本をテーマに探究活動を行っていくこととしました。絵本をきっかけに、自然への関わり、表現遊び、ごっこ遊び、音遊び、水遊びなど、様々な遊びを深めることができるように、子どもたちの興味・関心や発達に応じた絵本環境を整え、絵本のもつ力を最大限に生かしながら進めてまいります。早速、絵本作家のすとうあさえ先生を講師に招き学んでまいります。ご家庭においても、お子さんが絵本を読んでいる姿や読み聞かせをしている姿、つぶやきなど幼稚園にぜひお知らせください。幼稚園とご家庭が連携を図りながら、子どもたちの成長を共に育んでいきましょう。

年長組のお兄さんお姉さんが、年少組のお子さんに絵本（こいのぼりパーティーぐんぐんすくすく）を見せながら話をしています。たくさんのつぶやきが聞こえました。

「幼稚園で育てたアスパラガスだね」「おだんごつくりたいね」「(僕たちが) 買ってきたしょうぶの花だよ」
このように、絵本と自分たちの生活を結びつけている姿がみられました。



今月の学年目標

・喜んで登園し、自分の好きな場や好きな遊具で遊ぶことを楽しむ。

・教師や友達と関わりながら、興味をもった遊びをすることを楽しむ。

・友達と関わる中で、自分の思いを出したり、友達の思いに気付いたりしながら一緒に遊ぶことを楽しむ。